

オオシラヒゲソウ

ユキノシタ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

Parnassia foliosa Hook.fil.et Thoms.var. *japonica* (Nakai) Ohwi

国カテゴリー

該当なし

選定理由

現存個体数がきわめて少なく、年々減少している。生育地もごく限定されている。(現況:R-)

形態

根出葉の葉身は腎形～円形で、長さ幅とも4～6cmで、茎葉はやや数が少なく2～4個の無柄で茎を抱く。花は径3～3.5cmになり、花弁の縁は髭のように細かく切れる。シラヒゲソウの日本海型で、全体に大型である。

国内分布

本州の秋田県から兵庫県にいたる日本海側。

県内分布

南加賀区、口能登区、加賀中央区。

生態など

高さ15～30cmのやや小形多年草である。開花期は8～9月。短い根茎があり、果実は蒴果である。

生育環境

崖斜面下部の湿地、流水辺、凹地に生ずる湿地などに生育する。

危険要因

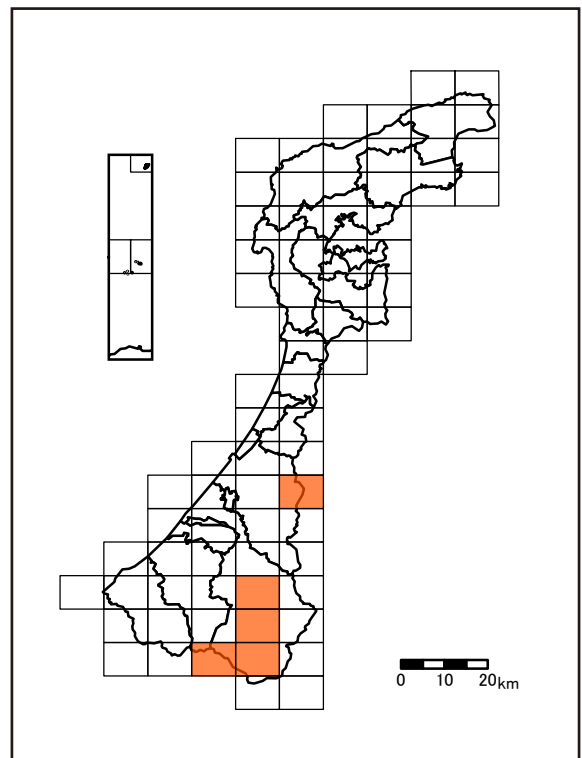
河川開発、道路工事、園芸採取、自然遷移、産地局限、その他(自然崩壊)。

特記事項

日本固有種。



本多郁夫・1990年9月23日・白山市



県内の分布